

とうほうだい 授業だより (終戦、「おかあさんの木」)

8月16日、水曜日。昨日は第78回目となる終戦記念日でした。台風7号の通過と重なり、気忙しい感がありましたが、先祖を偲ぶことができました。8月に入るとにわかに、新聞の記事や TV などのマスメディアに太平洋戦争のことが取り上げられるようになります。見聞きしていると戦争の体験談を語られている方は御年90歳程の方が多くなりました。年々思うことは歴史を語り継ぐことの大切さ。(今の自分がいるのは先祖のお陰であり、命が連続していることに気付けば、自分、そして他者を大切にすることができる)そんな思いがしています。話が代わりますが、豊中でも私が小学生の頃は8月6日に平和登校日があり、平和について半日学ぶ日がありました。他方、今日の某社の朝刊で豊中空襲の体験談[3名の方]を読ませて頂きました。〔市ホームページにあり〕 読み終わった後、つくづく私達は歴史から学び、引き継ぐ事が大切であると思いました。

下にある、「お母さんの木」とは、一昔前、第5学年でとり扱った国語の教科書にある物語の題名。この物語を通して、担任をしていた私も教え子と共に戦争の悲惨さ、平和の大切さを学びました。とても懐かしいです。

語り継ぐ

事が大切

平和の魂

